

Cさんの場合

息子さんが発達障害（当時小3）

居住地：仙台市泉区

インタビュー日：2023 年 10 月 5 日

お話：Cさん

聞き手：橋本武美

橋 今日はTくんのお母さんのお話を聞きます。まず当日は？

C 当日は、小学部の3年生の時で、小中学部の卒業式で学校が休みで自宅にいました。地震の時も自宅にいました……。

橋 一緒に？

C うん、一緒にいました。お姉ちゃんも、その時は中1で、やっぱり中学校も次の日の土曜日が卒業式っていうので、早く帰って来たんですね。ただ、地震があった時にはもう2階の自分の部屋に上がってしまってたので、もう私は息子と揺れが収まるのを待つので必死で、ちょっとお姉ちゃんの様子を見に行ったりとかがとてもできなくて。

橋 お姉ちゃんは2階の自室にいたの？

C 2階の自室にいて、自分で何とか安全を確保してたって感じです。

橋 お姉ちゃんは、普通校で。

C そうですね、普通の。

橋 中1ぐらいだから自分で大丈夫かなと。で、Tくんを守るっていう感じ。

C 息子は、でもそんな怖がったりとか特にパニックになったりする様子がなくて、ただ、揺れて収まってちょっとまた揺れて、3回ありましたよね。それで「わー、すごい」とかって言って（笑）

橋 アトラクション？（笑）

C 「ダメダメ危ない危ない」って言って、2人で長座布団を一応頭にかぶってたんですね。

橋 自宅は一軒家？

C 自宅は一軒家で、1階のリビングにいました、2人で。

橋 本人はどっちかって言うと、喜んでたっていうか面白くなっちゃった？

C そうですね。怖がったりとかパニックとかっていうのはなくて、ただすごい揺れたから「わー、すごい」って言ってたんですね（笑）で、1回揺れが収まった時にお姉ちゃんが2階から降りてきて、本棚とかがもう全部倒れて、「本棚のところにいたら危なかった」とか言って。で、テレビつけようと思ったけどやっぱつかないだったので、お姉ちゃんが「ウォークマンでラジオが聴けるから取ってくる」って言って、「いいからいいから、いなさい」って言ったんですけど、2階にまた上がってって、パパッと取ってまた降りてきて。ラジオを聴いてたんですね。

橋 ラジオを聴いてて、まだ15時16時ぐらいだけど、まあ真っ暗ではないけど、雪が降ってたりとかして暗かったよね。

C そうですね。で、お隣にお年寄りのご夫婦2人で住んでる方がいて、うちの庭のほうに来て「大丈夫だったー？」とかって一応声を掛け合って、「テレビつけようと思ったんですけどつかないでしょ」ってやっぱりその方も言って。あと夫が街なかで仕事してて、すぐは電話通じなかったんですね。でも何時くらいだったかな、電話だったかメールだったかが来て……。

橋 夜？

C 夜じゃない、夕方ですね。地震があった直後ですね。

橋 夕方にメールで連絡がついた？

C 電話でかな。なんかもう、会社から歩いて来てるって言ってたんですよ。で、歩いてきて……。

橋 あれ、おうちってどの辺だっけ？

C うちは黒松です。

橋 黒松か。歩いて……お父さん頑張って歩いて。

C うん、職場は南町通なんですけど、歩いて1時間ぐらいで来たって言って、16時とか16時半ぐらいに帰ってきたのかな。

橋 ああ、良かったね。

C うんうん。とりあえず。

橋 じゃあ随分早い時間に、お父さんとは合流できたんだね。

C そしてその間、とりあえず割れた物だけは片付けておいたほうがいいかなって片付けて……。

橋 被害は、家の中は？

C まあグチャグチャで物が倒れましたけど、特に家自体は大丈夫だったので。

橋 本棚倒れたりとか、食器が割れた物があるみたいな。

C うんうん。家の中はグチャグチャでしたけど。で、暗くなる前に反射板のストーブを持ってたので、反射板のストーブのタンクに石油を入れておこうと思って。

橋 あー、石油ストーブがあったんだ。

C うんうん。

橋 電気使わなくてオッケー。

C 電気代わりにもなるし、あったかくなるしって言って、石油を入れたんですよ。

橋 それは助かったね。

C そうですね。

橋 カセットコンロとかもあった？

C カセットコンロはその時持ってなくて。

橋 キッチンには？

C ガスがダメだから……でも、お姉ちゃんがその日は給食が出ないって言うから、お弁当を作ってて、お弁当のおかずとかがいろいろあったので、あと食パンの買い置きとか。だからその日はたぶん食パンとおかずの残りとかを食べたのかなあ。

橋 たまたまおかずはいっぱい作ってたんだ、弁当のために。

C うん、そうですね。ラジオは、普通のラジオもあったので、ウォークマンからそっちに切り替えてラジオをずっと流してて、4人でリビングと隣の和室を使って寝たんですよ。

橋 みんなで1階にいたんだ。

C うん。

橋 その時とかもTくんは大丈夫だった？

C そうですね、特に変わりもなく、夜も。

橋 テレビもついてなくても大丈夫？

C うん。真っ暗なのに特に変わりもなかったんですよ。で、余震があっても全然グーグー寝てましたし。

橋 あー本当。大物だね（笑）

C うん、なんか鈍感っていうか（笑）

橋 食べるのも、夕飯とかちゃんと食べた？

C うち、道路挟んですぐ向かいが旦那の実家なんですよ。

橋 おお、そうなの。

C で、その時は、旦那のお母さんの実家が福島なんですけど、そっちにちょっと法事とかがあって行ってて、もう次の日には帰って来たんですよ。

橋 じゃあその時にはいなかったのね。

C その日、当日はいなくて。

橋 車で帰って来た？

C 車で行って車で帰って来て。その時にカセットコンロとか水とか、水を汲むタンクとか食べ物とかいろんな物を調達してきてくれたんですね。何時くらいに帰ってきたのかな。

橋 向かいが夫の実家だったんだね。両親がいたんだ。

C そうですね。お母さんの実家が、そんなにフル回転じゃないんですけど旅館をやってて、向こうでご飯を炊いておにぎりとかも作ってきてくれて、2日目の夜かな、夜は主にそのご飯を食べた。

橋 すごいね、ありがたかったね。

C うん、ありがたかったですね、その時は。

橋 ねー。翌日にいろんなものが。カセットコンロも揃い。で、もちろんご両親もケガとか何も無く？

C そうですね。もちろん揺れたんですけど。向こうは全然停電とかになってなくて、テレビで見て「あ、これじゃあ自分たちの家はたぶん潰れてるな」とか言いながら帰って来たって言ってました。

橋 で、食料とかはそのカセットコンロもあるから温められるし、少し、災害用じゃないけど備蓄とかもあった？

C うん。野菜も冷蔵庫にちょっとあったのも使ったりとか。で、旦那の実家が市ガスじゃなくてプロパンなんですね。

橋 お向かいの？

C うん、お向かいの。ただプロパンもね、いつ無くなるか分かんないので。

橋 でもそしたらお風呂も入れた？

C お風呂は水出なかったから。

橋 あ、本当。プロパンだけ？

C うん。だから、朝昼はそれぞれ別々に食べてたんですけど、夜は実家に持ち寄ってみんなで食べてた感じですね。野菜とか。野菜とか缶詰、なんかキャベツにコンビーフ混ぜたりとか。

橋 Tくんは割と何でも食べれる感じだった？その頃。

C その頃が結構偏食だったんですけど、もうこれしか食べる物が無いよっていうので、そこからなんか割と、たぶん食べるようになった。

橋 大丈夫だった？

C うん、食べるようになったの。

橋 何かを感じ取って（笑）これしか無いんだっていう。

C 今これ食べないともう食べれないんだって、たぶん感じたんでしょうね。

橋 感じてはいるよね、非常事態なんだと。

C うん。おやつもそれまでは割と結構多めに食べてたけど、今日はこれだけねって量を決めて。

橋 いつ買えるか分かんないもんね。

C そうですね。震災のおかげもあるかもしれないですね、好き嫌いとか。

橋 で、向かいが旦那さんの実家で、プロパンだったし。

C プロパンだったので、まあ。

橋 ケガとか何も無かったし、お互いにご飯持ち寄れたりね。

C あと水汲みに行ったりとかはやっぱりうちで行って、その間に息子は見てもらって、とかができました。

橋 見てもらって。そっか、それはほんとに助かったね。

C 買い出しとかもそうですね。それは助かりましたね。

橋 うちとかは、もうほんとに2人だったから、水を汲みに行けなかったのよ。

C あー、そうですね。

橋 Cさんは家が2軒あるし、家自体もそんなに被害は少ない感じだったら、避難所に行くとかは考えなかった？

C そうですね。

橋 水もなんとか給水に行けるから。

C そうですね、給水もスーパーも。

橋 お風呂……沸かして拭いたりとかしてたのかしら。

C その時は、タオル絞って、どうだったかな、電子レンジ……。たぶん電気が来たのが3日目、4日目ぐらいですかね。

橋 早いね。ん？あ、でもそっか、電気はうちも早かったんだ。ガスがすごい遅かったんだ。

C ガスはそうですね。ガスは、1ヶ月くらい……。

橋 電気は3日目ぐらいに。

C 電気が来てからは、たぶんタオルを水で濡らして絞って電子レンジであつたため、それで拭いてました。

橋 トイレは？

C トイレは……雪がまだ降ってたから、雪解け水を溜めといて、それを流すようにしようって言って。汲んできた水はやっぱり料理とか、体拭くのに使ってましたね。

橋 あの時学校が、再開するまでどれくらいかとか全然分かんなかったじゃない。

C うん。

橋 そうというのは、Tくんは、お姉ちゃんもだけど、どうだった？

C 時間経って、4月に入ってからぐらいかな、やっぱりちょっとイライラするっていうか、パニックになるのは……。

橋 見通しが無いし。

C うん、いつ始まるんだろうって。

橋 4月から4年生か。

C 4年生。うんうん。

橋 そっか。で、学校はそれでもう終わっちゃったし、4月いつ始まるかも分かんなかったし。

C そうですね。

橋 4月ぐらいから少し？

C ちょっとイライラするというか、パニックというか、なりましたかねー。放課後デイも結局使えなくて、いつぐらいだったかな、「おうちの方が送迎してくれれば大丈夫です」って言われたの。

橋 来てもいいです、みたいな。

C うんうん。ただもうガソリンも無かったので、結局放課後デイも行けなかったんですよね。

橋 それまでは、放デイはどのくらい使ってたの？週に。

C あの時は週2ですかね。

橋 それも使えなくなって。

C うん、だから結局私がちょっと外を散歩させてたような気がするんですよね。

橋 お母さんと、お姉ちゃんも一緒？だいたいTくんと2人？

C そうですね、2人。たまに3人もあったかな。

橋 近くを散歩する。黒松のマンションとか、結構被害がひどいところあったよね。

C ありましたね。マンションだけど学校に避難したって聞きましたね。

橋 買い物は？

C 買い物は、おじいちゃんに見てもらってる時に行きました。

橋 Tくんと、なんか巡り歩いたりとかはしてない？

C 息子は連れて行かなかったかもしれないですね、その当時は。

橋 ちょっと落ち着かない感じも見られたし。

C うんうん。

橋 お買い物も結局並んで、ね、最初の頃とかって一人3点までとか、コンビニもいつ開くか分かんなくて、開いてもおにぎり一人2個とかそなんだったしね。じゃあ、大人だけで買い物は行ったの？

C そうですね、うん。

橋 でも大変だったでしょ、大人だけでも。生協があったっけ？黒松。

C 生協もあったけど、ヨークベニマルのほうに近いので、ヨークに行っていましたね。生協はあの時開いてなかったかな……。

橋 生協ってあちこちやっぱり被害があって、お店はキュッと「ここだけしか使えません」とか。鶴ヶ谷の生協とか

はね、鶴ヶ谷の放デイを使ってたから、やっぱり親御さんが送迎やってくれればいてもいいよっていうやつで。それで放デイの時間に鶴ヶ谷の生協に行ってみたら並んで、やっぱり一人3点までで、もうどんどんどんどん、トイレットペーパーとかティッシュペーパーとかは最初の人たちが買っていくのよ。はーもう、あーもう無くなってしまったって。で、そのあとにウェットティッシュみたいなものを買おうとしたけど、それもどうやら無くなって、シャンプーみたいなのか、そういう必需品的な物をどんどん皆様が買ってって、「あと何があります？」みたいな。自分の頃には「何がありますかー？」っていう感じだったなー。

C そうですよー。

橋 それでも並んで、もう2時間とかすぐ経っちゃうから、ほんとそのぐらいで、ああもう帰らなきゃ、みたいな感じだった。やっぱりろくに買えなかった。

C うんうん。

橋 何か欲しいとか、パン食べたいとか、そういうのは言わなかった？

C そういうのは無かったですね。

橋 すごい良い子だったねー。今まで食べなかった物も食べるし（笑）

C そうですよー。担任の先生から電話が来て、様子とか聞かれた。

橋 一番最初、安否確認みたいの来たでしょ？

C うん。来て、まあ「家も家族も大丈夫です」って言って、「Tも特にそんな乱れる様子は無いです」って言ったんですけど、「Tくんはちょっと我慢するっていうか溜め込むから、今は良くて後で出ることがあるから気をつけてね」って言われて、やっぱりその通りだったんですけど。やっぱ時間が経てきたら、「いつ学校始まるの？」な感じで。

橋 でも、それも答えられないしねー。

C そうなんですよ、うーん。

橋 つらいよねー。そういう時は、なんか体動かしたりとか、Tくんのために何かやってあげられることみたいなことは？

C 何してたらう……。

橋 何か考えた？考えたっていうか、なかなかね、実現できることがさ、放デイも行けないし、少なかったよね。

C 学校も行けないし。

橋 いつ始まるか分かんないっていうところがね。こっちも何とも……。テレビも違ったじゃん、あの頃はもうACばかりだったじゃない、テレビがついても。普通の番組が少なくて。

C やっぱ外に散歩に行ってたんですかね、行ける時は。

橋 歩く？

C うん、歩かせて。何かそれしかやってないな。

橋 じゃあその頃は、学校と放デイ以外に行ってることとあってあった？

C 無かったね。

橋 年少さんぐらいで、何か行かせてあげられたらなって思っても、ね、見つけるのがね。

C うんうん。そうですね。

橋 逆に良かったこととかは、まあ家も大丈夫だったし、お向かいの実家と協力していろいろできて、Tくんを見もらえることもあったし。その時Tくんとは別に、お姉ちゃんとだけコミュニケーションとかも時間は取れた？

C そうですね。お姉ちゃんもやっぱり買い物に付き合わせたりとか。

橋 そうか、Tくんを見てもらって、お姉ちゃんと一緒に動くこともできたんだ。

C そうですね、水汲みも手伝ってくれました。買い物も。やっぱり一人何点っていう時は、もう一緒に連れてって（笑）

橋 そうだ、そうよねー。そしたら2人分だもんね。

C そうですね。

橋 お姉ちゃんのほうで、逆にTくんと違って何でも言える分、お姉ちゃんのほうのフォローで困ったとかそういうことも特に無かった？

C 無かったかな、うん。

橋 良い子だ（笑）そのあと学校が再開して、普通になっていうか、スクールバスで通い出して、特にその地震があったこととかさ、そういうのでＴくんに変化っていうか、そういうのは？

Ｃ 無かったかもしれません。

橋 学校始まったのはやっぱ嬉しい？

Ｃ うんうん。

橋 で、放デイもまた普通に再開？

Ｃ そうですね。

橋 家族で結構何とかなったから、誰も近い人ではケガとかも無く、被害も無く。黒松だから海の被害はないよね。不便とかはあっても、何とか一緒に家族でやって。逆に家族以外の人に助けてもらうようなこともそんなに無かった？

Ｃ そうですね、うん。

橋 うちとかは逆にマンションで、８階で、エレベーターとかも使えなかったし、降りてったら非常階段で８階まで上がってくるとか考えると、買い物はもう一日一回とかで。その非常階段をユウヤと２人で歩いてる時に、次に大きいやつが来たらもう死んじゃうかもとか考えると、なんか下に降りるのは一日一回にしようとか（笑）給水はどうせ並べないし。ユウヤはその頃留守番もできなかったし、一緒に行くと列の前の人を蹴ってる。その頃すごい蹴る時期だったから、並ぶことができない。給水とかも買い物とかも並べなかったからとっても困ったんだけど、最終的には水は助けてもらうようなことがあったんだけど。

じゃあやっぱりその時は本当に実家の方々ありがとうだね。

Ｃ そうですね。

橋 旦那さんのお父さんお母さんも大活躍だったね。そうやって、じゃあ旦那さんのお母さんにＴくんを預けたりとかそういう時も、Ｔくんは割と良い子に、良い子になっていうか大人しくしてる？

Ｃ まあそうですね。

橋 でもその反動が出たのはどの辺で？学校始まってから？ちょっと自我が出るみたいな。

Ｃ うーん、そうですね。地震がちょっと落ち着いてからですかねー。

橋 それはどんな感じで？

Ｃ どんな感じ……。

橋 パニックが多くなったとか、なんかわがままっていうかさ、自己表出みたいなのがすごく増えたとか、そういうのではなく？

Ｃ 目の前で何かあったわけじゃないのに、急に「あー！」って声を出して機嫌が悪くなって……だったかなー。

橋 パニックってほどでは無い？

Ｃ うん。

橋 暴れる、結局周りの人になんか被害が及ぶとかではない？

Ｃ それは無いですね、うん。

橋 でもなんか、出せない感情とかフラストレーションがあるんだなーっていう。家でも出たの？

Ｃ そうですね。やっぱり急にわーってなって。

橋 泣く？泣くとかではないの？

Ｃ 泣くっていうよりなんか、わーって訳の分かんないことずっと早口で言って、家の中を往復とかしたりとかバタバタ歩き回ったりしたかな、うん。ですね。

橋 それってどのぐらいから始まったのかな。もう新学期も始まって落ち着いた頃？

Ｃ うーん新学期……学校始まる前かなー。地震から１ヶ月くらい経ってからとか、それくらいだったかな。

橋 ふーん、少しずつって感じかな。

Ｃ うんうん。あと一緒にいる人、なんだろ、相手を見るっていうか。おじいちゃんちょっと甘えても大丈夫だけど、おばあちゃんから言われたことは聞かないとダメっていうか、お利口さんにしてなきゃって思うみたいで、おばあちゃんの前では大人しくしてるんだけど、自分の家に戻ってくるとそうやって「あー」って声を出したりとか。

橋 そっかそっか、相手によって。

Ｃ うん。

橋 甘えられる相手、お母さんとか甘えられる人には出るのかな。

C そうですね。

橋 でも自己表出だよなー。地震だけじゃなくて、ちょうどその頃が出る頃だったのかも？

C あ一年齡的に、うん。

橋 何にもないってことはないよね、ああいうことがあってさ、ねー。

C そうですよ、うんうん。

橋 だけど、それを「あの時、俺イヤだったよ」とかは言わないから、彼らは（笑）わーわーとかグルグルグルグルーとかってなるし、全然知らない人にはしないだろうけど、安心できる人だけの時には、それを押さえるっていうのが緩くなるから出るんだらうね。だから、ちょっとやっぱりその先生が言ったみたいに、少し自分で押さえてたところがあるのかもね。

C うんうん。

橋 お母さん自身は？そのあと何かパニックになるとかは無いだろうけど、思い出してすぐくつらくなるとかそういうのも？

C いや、私は……。

橋 大丈夫？

C かなー。うんうん。

橋 例えば近い人を亡くしたりとかさ、そういう場面を見るとかそういうことがあれば、ね。そういうことでもないもんね。

C うん。

橋 私もそうだけど、水は見えてなくて、ただお風呂がものすごく、ガスがだいぶかったからとにかく使えなくて。うち結構かきむしりくんだから、すごい困ったの。ちょっとお湯沸かして濡らしたタオルとかで体拭いたところで、体を搔くとやっぱり湿疹みたいなのがどんどんひどくなっていくから、お風呂を何とかしてあげたいと思って、うちは車で山形の温泉とかに入りに行ったりしてたのね。近くに銭湯とかもほとんど無かったし。小田原に実は1軒銭湯が、ちっちゃいのがあったんだけど、でもそこにみんな殺到してたから、人がうじゃうじゃだとうちはちょっとね、ユウヤくんは困っちゃうから。で、山形に温泉入りに行ったりとかさ。それで帰りに、通れるようになった海の近くのほうをちょっと回ってみるかとかして。車に乗せてドライブするのは、やっぱり本人のストレス解消のためにできることって、歩くか、あとは車乗せてちょっとドライブとかくらいしかなかったからさ。外食に行くっていうのでもなかったから、もうお父さんもネタが尽きるし。で、ちょっと海のほうとかどうなったかなって行くと、そっちはまだまだ救助活動っていうか、海の搜索活動とか、そのまんまだなっていうような、ちょっと行ったらもうそのまんま自衛隊の人たちがいっぱいいて。あーそうだった、まだまだ家族が見つからなくて探してるような人がいて……お風呂に入れないとかそれどころではない状況が、ちょっと15分先に行ったらあって。そういうので、私も、ああ……って、なんかものすごく、急にガーンって黒い幕が降りてきたみたい。あー現実はこちらはこうだ。まあうちはうちでこうっていうのがあったけど。なんか、何にもできない感覚もあった。実際にユウヤと一緒にいて本当に動けないんだけど、自分たちは生きてて、近い人に被害はなかった。でもそっちはまだその状況で、本当は何かできることがあるんじゃないか、やんなきゃいけないんじゃないかなみたいな感覚が。でもどうにもならないっていうか、何をしたらいいか……。実際には出歩けないんだから、何をしたらいいか分かんないし。ちょっと、あの時何かできたんじゃないかなみたいなのは、ずーっと重く残ってるの、私はね。

C うんうん。

橋 なんか、そういうのはない？あの時こうだったら……とかさ。

C うん、でもその無力感がありましたね。

橋 で、Tくんのこととか考えて、あの時あれがあれば良かったとか、こういう支援があれば良かったとかある？例えば放デイも使えたら使いたかったよね。

C そうですね。

橋 だけど、親が送迎しないと使うことはできなかったでしょ？預かってもらうのか、家に来てもらうのか、何かがあれば良かったな。

C そうですね、何か気分転換できる場というか、その機会があれば。

橋 それって何だろう？ T くんの場合には。

C うーん。放デイみたいに、同年代の子たち何人かと、何か……なんだろう。

橋 預かり先？

C うん。

橋 結局送迎ありってことだよな。送迎してくれないと使えない。送迎つきの預かり先。

C そういう場が自宅の近くにあればいいんですけど。

橋 ね。たまたま歩いて行けるとこだったわーみたいな人はラクだったよね、きっとね。でもそういう人はほんと少ないもんね。

C うん、そうですね。

橋 預かり先ね。そっか、実際おばあちゃんが預かってくれたりもあったから、家に来てもらうっていうのは必要なかったんだよね。

C そうですね、家に来てもらうか、おばあちゃんちにいてねって置いて来たりとか。

橋 あとは食料品だったりとかそういう物資みたいなもので、これがあればもっと良かったなっていうのは？ カセットコンロはその時は持ってなかったんだよね。

C そうですね。あとは何だろう？

橋 本人のお楽しみグッズみたいな物だったりとか。

C んー、なんか思いつかないですね。

橋 実際、食料品もそんなに困りは……そんなにでもなかったのかな。

C うん。

橋 あれば良かったっていうのは、そのカセットコンロぐらい？

C うん。そうかな。

橋 T くんが好きな物で、手に入らなくなった物とかそういうのも別にない？

C それも無いですかね。

橋 ストーブもあったもんねー。

C そうですね。

橋 じゃあ、あって良かったのはストーブね。石油ストーブが使えた。あとはまあお姉ちゃんが一緒に家にいたってことかな。

C うんうん、そうですね。

橋 たまたまね。

C うん。

橋 お姉ちゃんがもし学校から早く帰って来て、そのまま遊びに行っちゃってたら……。

C ああ、そうですね。

橋 ね。あとはまあ今でもそうだけど、母たちの情報みたいなそういうのが入れば……例えば放デイ情報みたいなさ、放デイだったりヘルパーさんだったり、預かりどころみたいな情報とかは、母たちのネットワークとかで入ってくるような感じだったら、自分は使えないところかもしれないけど、何も分かんなくてどうなんだろうどうなんだろうよりは良かったかな。それは今もね、卒業しちゃうと親たちも繋がりが無くなって、より情報が入って来なくなるから、ね。そういう T くんへの支援の情報網みたいなものって？

C 結局その時って学校から「いつごろ再開の予定です」って電話を待つしかなかったですよ、放デイも。「こちらの状況は今こんな感じで、お母さんが送迎してくれるんだったら預かります」って、やっぱり結局電話を待つしかなかったですよ。

橋 一回さ、連れて来れる人たちは 1 日連れてきてもいいですよーみたいな日があったよね。

C そうでしたっけ？

橋 あったのよ、行ったの。で、ユウヤは自転車に乗れないのに、自転車に乗って転んで悲惨だったんだけど（笑）そういう日が 1 日あって、結構人来てて。うちのよりちっちゃい子が自転車ガーとかって乗り回してて、だからた

ぶんそれを見て行ってみたんだろうけど（笑）そっか、それを知らなかった？

C それは知らなかったです。

橋 あ、本当。

C でもやっぱり情報ですよ、そういう時のね。

橋 そうなんだ。私も知らない方がいたんだけびっくりした。そっかあ。情報網は、そういう災害云々に関わらず……本当は災害あったからって繋がれるわけじゃないでしょ。

C そうですね、うん。

橋 通常からあれば一番良いんだよね。

C そうですね。やっぱり常日ごろからコミュニティというか、うんうん、ですねー。

橋 ね、携帯とかの災害ダイヤルとかそういうのじゃないから、その時に急に、情報無いんですか、繋がれないんですかっていっても、はい繋がりましたよっていうのはならないから。普段からしかないんだよね。

C うんうん。普段からなんでしょうね。

橋 その情報網があって、災害があった時、その内のどのぐらいが入ってくるか……。その辺は私は繋がってたほうで、親の会もいくつか入っていたけど、その中でも入ってくる情報は、その時キューって少なくなったのね。こっちも結局携帯で待つだけ、情報待つだけだったから、それは重要だねー。

C そうですね。

橋 今だったらスマホで、みんな LINE なり YouTube とかで例えば発信できる人が発信してくれて、もちろん残量とかそういうのでヒリヒリしながらっていう状況になる人はいるだろうけど、使える状況であれば、YouTube で見れるはずとかね、なんかそういう時のための、どこどこに備蓄が行ったよとか、その受け取り方だったりとか。あの時ってとにかく、どこに取りに行ったら何がもらえとか、結局繋がらなかったから。でも、たぶん私たちが本人のために欲するものって、物じゃなくてソフト面の支援じゃん。人に来てもらって、一緒に家にいてもらって母が動くとか、そういうことなんだよね。今でも、そういうのがあったらどうしますみたいなさ、そんなマニュアルとかも無いしね。たぶんそのまま無いよね、あの頃のまま。

C でも最近インスタを始めようとはしてるみたいですね。

橋 ああそうなの？へー。

C うんうん。LINE も始まったんです、一応。

橋 あ、LINE グループにしたってこと？

C なんか登録してくださいって言われて。

橋 出欠連絡とかのために？

C 出欠っていうよりは、緊急の時とか、災害とかね、大雨の時とか、その時のために始めたみたいなんですけど。

橋 でもそれあれば確かに、LINE が繋がれば一番早い。送迎、例えば送迎中の時とかね、今どのあたりにいます、ここから動かないようにするからここに来てくださいとかね。例えばじゃあ黒松の生協にとか、どここの駅に来てくださいとか、それも可能になるもんね。じゃあ考えてもらって（笑）あとはまあ親たちは、その災害云々とは関係なくもね、先々ね。住むところとかさ。

C やっぱりコミュニケーションですね。情報ですね、繋がって。

橋 繋がって、情報共有ができれば一番いいんだね。ソフト面が大事なんだなっていうことは、お話ししていて私も再確認しました。あと何か思い出したこととかあったら教えてください。ありがとうございました。